

注意

- 1. 本電の取扱いは、(別電)に準ずる。
- 2. 本電に関する照会(検閲班(別電)2171、2174)に連絡あり。

限定配布

極秘

電信写

[]

[]

[]

総番号

[]

主管

月 28日

国 連 発

北米局長

平成 5年 9月 28日

本 省 着

外務大臣殿

波多野 大使

秘密指定解除
外交記録・情報公開室

日米首のう会談 (別電4)

第5517号 極秘 大至急

(限定配布)

往電第5513号別電4：ロシア

(総理) ロシアについて一言申し上げたい。先般の日ロ外相会談において、エリツイン大統領の訪日が、10月12日から3日間程度行われることに確定した。もちろんロシアの国内情勢は流動的であり、今後とも変更は有り得よう。わが国は、領土問題を解決して日ロ関係を正常化したいと考えている。また、ロシアの改革努力に対しては、積極的に支援を行っていく所存である。これまでの領土問題に関する交渉の積み上げの上に歴史の新しい章を開き、日ロ新時代を構ちくしていきたい。

(大臣) 先般のチェルノムイルジン首相との会談において、大統領より発言していただいたことに感謝する。

(クリントン) おれいを述べる。この時点で、エリツインを支持したことは正しかつたと強く信じている。

他のだれが取つて代わつても、

地図と歴史を見れば、欧米のみならず日本からの支援がなければ、ロシアを健全な民主主義・市場経済国家に変革していくことは出来ないと感じている。健全な経済をもち、強固な民主主義国家たるロシアの実現は世界各国の利益となる。

全米公館(除く、アガナ、デトロイト)、英、独、仏、イタリア、カナダ、ロシアに転電した。(了)